

平成 29 年度 第 4 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

【日 時】平成 30 年 3 月 13 日（火） 16：17～17：20

【場 所】琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター

【参加者】 8 名：松野和彦（那覇市立病院）、長野宏昭（県立中部病院）、荻堂麻紀子（沖縄県保健医療部）、山本孝夫（県立八重山病院）、石川裕子（県立宮古病院）、大湾盛治（患者の立場の者）、平田哲生（琉大病院診療情報管理センター）、増田昌人（琉大病院がんセンター）

【欠席者】 2 名：赤松道成（北部地域医師会病院）、大城まち子（沖縄県教育庁）

【陪席者】 1 名：山口元子（琉大病院がんセンター）

【報告事項】

1. 平成 29 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 29 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

2. 【施策 2】がん啓発ラジオ番組の企画

資料 2 に基づき、がん啓発ラジオ番組の企画について、9 月 26 日に放送された特別番組に出演した長野委員より報告があった。肺がんに関してはあまり質問がなかったが、セカンドオピニオンについて説明した。素朴な質問が多かった印象があるとのことだった。事務担当より、今年度の新しい取り組みとして、9 月の毎週月曜日に 5 分番組を放送して頂いた旨報告があった。

3. 【施策 3】一般向け講演者リスト（人材バンク）について

資料 3 に基づき、一般向け講演者リストについて、増田委員より、反響がないためホームページへの一般向け講演者リストの掲載は取りやめて琉大病院がんセンターが仲介してはどうかとの提案がなされ、承認された。

4. 【施策 5】がん検診啓発活動（ポスターコンテスト）の企画

資料 4 に基づき、がん検診啓発活動（ポスターコンテスト）の企画について、事務担当より宮平乳業の牛乳パック広告欄に掲載して頂く旨報告があった。

5. 【施策 8】がんに関する教育

資料 5 に基づき、がんに関する教育について増田委員より報告があった。文科省としては 2017 度からがん教育を全国で一斉に行う予定だったが、どの県も実施できていない。沖縄県も研究授業は実施されているが全県への展開にまでは至っていない。2019 年度よりがん教育を全県展開するため、保健体育の教師が 1 人で授業を実施できるような教材を作成するためのワーキンググループを作り、第 1 回目の会合が終わった所である。今年度中の完成を目指して活動していく旨報告があった。教材を委員で検討し、メールで意見を付けることになった。

6. 「協議会専門部会委員のためのロジックモデル研修会」について

増田委員より、協議会専門部会委員のためのロジックモデル研修会を5月13日（日）に開催するため、参加して頂きたいと案内があった。

【協議事項】

1. 専門部会の再編について

資料6に基づき、専門部会の再編について増田委員より説明があり、普及啓発部会の発展的解消が提案された。委員からは普及啓発部会の事業はどの部会が引き継ぐのかとの質問があり、増田委員より、予防と検診は沖縄県、がん教育は沖縄県教育庁にお願いしたいとの提案があった。協議の結果、普及啓発部会の発展的解消が承認された。

2. 平成29年度の普及啓発部会の事業計画の評価について

資料7に基づき、平成29年度の普及啓発部会の事業計画の評価が行われた。

【施策1】 メディア向けセミナーの開催は評価を9点とする。

【施策2】 がん啓発ラジオ番組の企画は評価を10点とする。

【施策3】 一般向け講演者リストの公開、更新は評価を9点とする。

【施策4】 専門的病院におけるがん種毎の担当医の公開は評価を9点とする。

【施策5】 がん検診啓発活動（ポスターコンテスト）の企画は評価を9点とする。

【施策6】 学校PTAを対象としたがん啓発活動は評価を0点とする。

【施策7】 学校教育者を対象としたがん啓発活動は評価を9点とする。

【施策8】 児童・生徒を対象としたがん啓発活動は評価を2点とする。